

施策6 次代を担う青少年の健全育成

次代を担う青少年が自他の命を大切にし、安全で健やかに成長できる環境づくりを推進します。

詳細施策6-1 地域ぐるみの青少年健全育成活動の推進

～「地域の子どもは地域で守り育てる」活動の推進～

●現在の状況は

青少年を取り巻く環境は、社会経済情勢の変化に伴って大きく変化し、青少年が加害者となったり被害に遭ったりする事件も増加しています。こうしたことから「地域の子どもは地域で守り育てる体制」の充実が求められています。

●これからの取り組みは

1 「青少年に対する理解」を深めるための各種大会の開催

「少年の主張大会」や「青少年健全育成大会」などの開催により、青少年のものの見方や考え方に接する機会を提供し、市民・大人たちの健全育成に対する共通の理解と認識を深めていきます。

2 地域活動への支援

地域の安全ボランティアと学校との連携を強化し、自主パトロール活動の体制づくりを支援していきます。

3 関係団体への支援と連携体制の強化

青少年健全育成団体の活動支援を行いながら、より実効性の高い連携体制をつくります。

詳細施策6-2 子どもたちの体験活動への参加機会の充実

～社会体験活動への参加促進と情報の提供～

●現在の状況は

少子化・核家族化の進行と情報技術の進展が、子どもたちの人間関係づくりに影響を及ぼしています。また、集団生活や外遊びの減少により、自然とのふれあいや社会活動の体験が不足し、子どもたちの成長にも影響を及ぼしています。

●これからの取り組みは

1 青少年団体活動への参加の促進

子ども会やガールスカウト・ボーイスカウトなど青少年団体での活動は、自主性や社会性を培う上で貴重な体験となります。そこで、人格形成に大切な少年期にある子どもたちの団体活動への参加を促進します。

2 体験活動の場の創出及び情報提供

学校外活動の充実や促進を図る「子どもフェスティバル」への支援や魅力ある体験教室などの開催情報の提供を進め、子どもたちの社会体験活動への参加を促進します。

詳細施策6-3 関係機関と連携した非行防止活動の推進

●現在の状況は

青少年補導センターにおける補導件数は年々減少していますが、少年非行は低年齢化・粗暴化・広域化が進み、楽観できる状況ではありません。

非行の早期発見と予防を目指して、青少年に直接声かけ指導を行う街頭補導活動や悩みごと相談業務等の更なる充実が求められています。

●これからの取り組みは

1 青少年補導センターの機能充実

市域の広がりや屋外でたむろする青少年の減少などの環境変化に対応した街頭補導計画を導入し、より機能的・効果的な補導センターの運営を図ります。

2 非行防止活動推進のための連携強化

組織的な非行防止活動を推進するために、高崎警察署、藤岡警察署、鉄道警察隊、少年育成センターなど、関係機関との連携を強化します。

詳細施策6-4 学校の危機管理の徹底

～不審者や虐待等から児童・生徒を守るために～

●現在の状況は

学校施設内への不審者の侵入や登下校時の声かけ事案が増加しています。また、児童・生徒が保護者から虐待される事件も多発しています。

●これからの取り組みは

1 危機管理マニュアルの点検と見直し

学校施設内へ侵入した不審者から児童・生徒を守るため、学校危機管理マニュアルの点検・見直しと訓練を実施します。

2 地域や関係機関との連携強化

児童・生徒の安全な生活を確保するため、地域・学校・警察・児童相談所との連携を強化します。

詳細施策6-5 地域に根ざした青少年活動の探求

●現在の状況は

少子化、核家族化の中で育ってきた現在の青少年の中には、連帯感の希薄化や社会的自立の遅れが見られることがあります。このような状況の中で、豊かな人間性を育成するための参加型体験活動の場が求められています。

●これからの取り組みは

1 青年のつどい事業の推進

青年層のニーズに応じたイベントを企画し、誰もが参加しやすい事業の展開を図ります。

2 地域リーダーの育成

成人式企画委員や地域のボランティア活動等に参加している青少年に対して、様々な事業への参加を促し、地域において活躍できる青年リーダーの育成に努めます。

詳細施策6-6 観音山キャンプパークの利用促進

●現在の状況は

観音山キャンプパークは、平成9年の開設以来、青少年をはじめ多くの市民に野外活動の場として利用されていますが、施設の老朽化に対応した補修や安全対策が欠かせないものとなっています。利用者のニーズに応じた施設の整備と気軽に参加できる自主事業の開催などによる多様な活動メニューが求められています。

●これからの取り組みは

1 快適な野外活動の場の提供

利用者の安全を確保した機能的な施設整備を実施し、魅力ある都市型キャンプ場としての施設づくりに努めます。

2 多様な体験活動の場の提供

設備の充実を図り、陶芸などの新たな体験活動の場を提供するとともに、既存施設の有効活用によってキャンプ場の特長を生かした自主事業を開催します。



詳細施策6-7

青年センターの機能充実と利用促進

～地域に溶け込む青年センター～

●現在の状況は

青年センターでは、生涯学習と青少年の健全育成を基本理念として、スポーツや文化活動を通して、趣味や生きがいづくりの学習活動が行われています。

また、「子ども映画会」や「青年センターフェスティバル」、「地域ふれあい祭り」を開催して、地域の人々との交流を図っていますが、さらに、地域の人々が気軽に利用できる施設の運営が求められています。

●これからの取り組みは

1 魅力ある学習機会の提供

青少年の関心が高い情報・福祉・環境をテーマとした講座やボランティア養成講座、伝統文化に関する講座を開催します。

2 学習意欲を高めるための取り組み

利用サークルなどの学習成果を定期的に発表する機会を設けるほか、インターネットを通じて情報発信するなど、利用者の学習意欲を高めるとともに学習仲間の交流を広げます。

3 地域の人々との交流促進

「青年センターフェスティバル」を充実させ、地域への情報提供に努めます。また、地域の施設として地域ボランティアによる環境美化を進めるとともに、学習資料の貸出しを行い、地域の人々の学習活動を支援します。



青年センター青年教室ピラティスの様子